

第 9 編 付

録



101. 官公署・諸団体等名簿

(1) 官公署

令和4年4月1日現在（順不同・敬称略）

名	称	代 表 者	職 名	電 話
渡島森林管理署	森森林事務所	首席森林官	和田恭男	2-2722
北海道警察函館方面	森警察署	署長	上杉光範	2-0110
渡島総合振興局	保健環境部森地域保健支所	支所長	片石昇	2-2323
渡島北部地区	水産技術普及指導所	所長	吉田聡	2-2136
北海道立	青少年体験活動支援施設	所長	小野俊英	5-2110

(2) 学校

令和4年4月1日現在（順不同・敬称略）

名	称	代 表 者	職 名	電 話
北海道	森高等学校	校長	藤村学	2-2059
町立	森中学校	校長	石川宏司	2-2406
町立	砂原中学校	校長	小林智晴	8-2012
町立	駒ヶ岳小学校	校長	細川和成	5-2243
町立	尾白内小学校	校長	遠藤淳	2-2389
町立	森小学校	校長	金澤力	2-2113
町立	鷺ノ木小学校	校長	西尾聡	2-2069
町立	石谷小学校（休校中）	—	—	—
町立	石倉小学校（休校中）	—	—	—
町立	濁川小学校（休校中）	—	—	—
町立	さわら小学校	校長	吉川聖	8-4123
町立	森幼稚園	園長	青山まゆみ	2-1717
町立	さわら幼稚園	園長	大島修子	8-2462

(3) 関係機関

令和4年4月1日現在（順不同・敬称略）

名	称	代 表 者	職 名	電 話
森	町	町 長	岡 嶋 康 輔	2-2181
森	町 議 会	議 長	野 村 洋	2-2185
森	町 教 育 委 員 会	教 育 長	毛 利 繁 和	2-2186
森	町 農 業 委 員 会	会 長	猪 子 和 博	2-2181
森	町 選 挙 管 理 委 員 会	委 員 長	堺 要 夫	2-2181
森	町 監 査 委 員 会	代 表 監 査 委 員	釣 隆 吉	2-2181
森	町 固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会	委 員 長	小 長 井 朗	2-2181
森	町 消 防 本 部	消 防 長	東 谷 直 樹	2-2125
森	町 消 防 署	署 長	松 田 光 治	2-2125
森	町 消 防 団	団 長	中 田 浩 一	2-2125
森	町 防 火 協 会	会 長	佐 藤 友 昭	2-2125
森	町 女 性 消 防 ク ラ ブ 連 合 会	会 長	石 黒 和 子	2-2125
森	町 国 民 健 康 保 険 病 院	院 長	高 塩 哲 也	2-2580
森	町 防 災 会 議	会 長	岡 嶋 康 輔	2-2181
森	町 交 通 安 全 運 動 推 進 委 員 会	会 長	岡 嶋 康 輔	2-2181
森	地 区 交 通 安 全 協 会 連 合 会	会 長	吉 田 好	2-0110
森	町 交 通 安 全 協 会	会 長	吉 田 好	2-2181
森	町 交 通 安 全 指 導 員 協 議 会	会 長	高 田 敏 幸	2-2181
森	町 交 通 安 全 母 の 会	会 長	安 藤 千 鶴 子	2-2181
森	地 区 安 全 運 転 管 理 者 協 会	会 長	河 野 文 彦	2-0110
森	自 動 車 運 転 者 協 会	会 長	川 村 隆 人	2-0110
函 館 地 方 安 全 運 転 管 理 者 事 業 主 会 森 支 部		支 部 長	水 野 建	2-0110
森 町 社 会 福 祉 協 議 会		会 長	伊 藤 秀 信	3-2280
北 海 道 共 同 募 金 会 森 町 共 同 募 金 委 員 会		会 長	森 静 子	3-2280
日 本 赤 十 字 社 森 分 区		分 区 長	岡 嶋 康 輔	2-2181
日 本 赤 十 字 社 森 町 奉 仕 団		委 員 長	小 杉 久 美 子	2-2181
日 本 赤 十 字 社 水 上 安 全 奉 仕 団		一	休 団	2-2181
森 町 民 生 委 員 協 議 会		会 長	甲 田 直 嗣	2-2181
森 町 遺 族 会		会 長	坂 本 元	2-2181
森 町 青 葉 母 子 寡 婦 会		会 長	三 浦 千 枝	2-2181
森 町 手 を つ な ぐ 育 成 会		会 長	菊 池 徳 子	3-2280
森 町 身 体 障 害 者 福 祉 協 会		会 長	吉 田 千 加 子	3-2280
森 町 町 内 会 連 合 会		会 長	佐 々 木 裕	2-2181

関係機関（つづき）

令和4年4月1日現在

名 称	代 表 者	職 名	電 話
森町老人クラブ連合会	会 長	深川節雄	3-2280
森地区保護司会	会 長	香田隆	2-2181
森町更生保護女性会	会 長	福良友子	2-2181
森町ボランティア連絡協議会	会 長	磯尾延行	3-2280
森町ボランティアの会	会 長	吉田千加子	2-2290
森地区防犯協会	会 長	岡嶋康輔	2-2181
森町青少年問題協議会	会 長	岡嶋康輔	2-2181
森町国民健康保険運営協議会	会 長	佐々木裕	2-2181
森町営農指導対策協議会	会 長	岡嶋康輔	2-2181
北海道猟友会森支部	支 部 長	青山久雄	2-2181
森町シルバー人材センター	理 事 長	葛西雅行	2-0423
森町健康推進委員会	委 員 長	佐藤真喜子	3-2311
森町教育水準向上対策協議会	会 長	岡嶋康輔	3-3640
森町教育振興育英会	会 長	岡嶋康輔	3-3640
森町PTA連合会	会 長	鈴木正幸	2-2113
社会教育委員会	委 員 長	佐藤真喜子	2-2186
森町文化協会	会 長	木田和子	2-2186
森町図書館協議会	委 員 長	堺惠美子	2-5515
森町文化財調査委員会	委 員 長	安井努	2-2186
森町体育施設運営協議会	委 員 長	高松潤一	2-1234
森町スポーツ推進委員会	委 員 長	木村孝	2-1234
森町体育協会	会 長	高山健太郎	2-1234
森町女性団体協議会	会 長	小杉久美子	2-2186
森町若妻サークル連絡協議会	会 長	斉藤優香	2-2186
森町食生活改善協議会	会 長	吉田美子	3-2311
森地区連合会	会 長	鈴木紀子	2-3952
森町認知症の人と共に歩む会	会 長	関利恵子	3-2311

(4) 諸団体

令和4年4月1日現在（順不同・敬称略）

名 称	代 表 者	職 名	電 話
森 商 工 会 議 所	会 頭	伊 藤 新 吉	2-2432
森 町 さ わ ら 商 工 会	会 長	岩 井 光 雄	8-4056
森 地 方 中 小 企 業 相 談 所	所 長	森 田 智 幸	2-2432
森 漁 業 協 同 組 合	代表理事組合長	山 下 勉	2-2222
砂 原 漁 業 協 同 組 合	代表理事組合長	三 上 浩	8-2550
新函館農業協同組合森基幹支店	支 店 長	笹 谷 秀 敏	2-2386
森 水 産 加 工 業 協 同 組 合	代表理事組合長	佐 藤 善 高	2-2159
森 地 区 水 産 加 工 振 興 協 議 会	会 長	木 村 俊 一	2-2432
砂 原 水 産 加 工 協 議 会	会 長	坂 本 徳 博	8-4056
NOSAI 北海道みなみ統括センター 道南支所	支 所 長	高 橋 正 志	0138-77-2130
は こ だ て 広 域 森 林 組 合	代表理事組合長	月 舘 久 治	0138-77-8836
森 鮮 魚 仲 買 人 組 合	組 合 長	上 平 久	2-2372
森 町 冷 凍 事 業 協 会	会 長	内 山 淳	2-2018
森 地 方 食 品 衛 生 協 会	会 長	佐々木 修	2-4241
森 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	会 長	新 岡 博 正	2-2024
森 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ	会 長	小長井 朗	2-2432
森 青 年 会 議 所	理 事 長	岩 島 隆 洋	2-2432
月 曜 会	幹 事 長	伊 藤 新 吉	2-2432
森 観 光 協 会	会 長	河 野 昭 彦	2-2432
森 町 建 設 協 会	会 長	河 野 昭 彦	2-2501
森 町 物 産 協 会	会 長	大 塚 昌 彦	2-2432
砂 原 物 産 館 運 営 振 興 会	委 員 長	米 坂 享 太	8-2828

(5)町内会長

令和4年4月1日現在

町内会名	町内会長名
赤井川	伊藤秀信
駒ヶ岳	長岡輝仁
尾白内町	梅本勲
尾白内町南部	内田豊
白川町	岩谷弘美
東森町	松田兼宗
港川町	風間彰
新常盤川町	山下英一
森川町	清水重子
姫川町	釜澤弘
御幸清澄部	宮本秀逸
本町東西部	山田邦仁
本上町	小間一男
みどりヶ丘	小杉久美子
鳥崎町	佐藤俊一
富士見町	岡田康帆
驚木町	吉川満春
姥谷町	松田越二
本茅部町	高角和田
石倉東部	坂本良美
石倉中部	坂本正則
石倉西部	坂本清一
濁山川	前野幸政
二沼尻	小岩昭正
沼彦第1	岩城木正
彦彦第2	青対馬弘
彦彦第3	輪島光忠
会第1	工藤良則
会第2	伊藤邦男
四軒町	伊宮巖
砂原2丁目	澤田正幸
砂原中央	佐々木裕
度杭崎第1	森文吾
さわやか町内会	坂本清和
場中第1	池田信司
場中第2	森健一郎
小石崎	島嘉範
押出	岩内正隆

102. 森町公共施設一覧

(令和4年4月1日現在)

名 称	住 所	電 話
森 町 役 場	御幸町144-1	2-2181
森 町 砂 原 支 所	砂原1丁目43-4	8-3111
森 町 保 健 セ ン タ ー	森川町278-2	3-2311
森 町 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	御幸町144-1	3-2322
森 町 浄 水 場	上台町326-1	2-0985
森 町 公 民 館 (福 祉 セ ン タ ー)	御幸町132	2-2186
森 町 砂 原 公 民 館	砂原1丁目31-3	8-3190
森 町 図 書 館	御幸町172 NTT森ビル1F	2-5515
森 町 学 校 給 食 セ ン タ ー	森川町280-4	2-3233
森 町 国 民 健 康 保 険 病 院	上台町326	2-2580
森 町 立 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム さ く ら の 園	森川町278-2	2-0281
森 町 衛 生 セ ン タ ー	砂原東5丁目99-14	8-3320
森 町 森 浄 化 セ ン タ ー	尾白内町844-2	2-2377
森 町 一 般 廃 棄 物 最 終 処 分 場	尾白内町1142-1	2-0048
森 町 さ わ ら 一 般 廃 棄 物 最 終 処 分 場	砂原2丁目600-154	8-4184
森 町 水 産 系 副 産 物 再 資 源 化 施 設	尾白内1142-1	2-7800
森 町 漁 業 系 廃 棄 物 リ サ イ ク ル 施 設	砂原5丁目124-1	—
ホ タ テ 未 利 用 資 源 リ サ イ ク ル 施 設	砂原6丁目13-11	8-2455
森 町 消 防 本 部	森川町280-4	2-2125
森 町 消 防 署 砂 原 支 所	砂原1丁目60-1	8-2156
森 町 葬 苑	霞台30-2	2-1294
さ わ ら 斎 場	砂原西4丁目185-140	8-3904
森 町 リ サ イ ク ル プ ラ ザ	砂原東4丁目2-39	8-3320
駒 ケ 岳 特 別 母 と 子 の 家	駒ヶ岳232-44	5-2824
尾 白 内 生 活 館	尾白内町528-1	2-3790
尾 白 内 南 部 生 活 改 善 セ ン タ ー	尾白内町1046	2-0938
森 町 農 業 集 落 セ ン タ ー	白川38-6	2-0993
姫 川 福 祉 会 館	姫川45-1	2-0606
東 森 生 活 館	東森町129-48	2-0614
森 町 漁 村 セ ン タ ー	港町185-3	2-6649
常 盤 福 祉 会 館	常盤町97-2	2-4883
新 川 老 人 い こ い の 家	新川町157-2	2-4795
森 町 基 幹 集 落 セ ン タ ー	森川町278-2	2-4794
森 川 姫 川 生 活 改 善 セ ン タ ー	森川町208	2-1696

名	称	住 所	電 話
緑の家（森町身体障害者福祉会館）		清澄町22-4	2-0998
上台地区活性化支援センター		上台町326-18	2-1300
本町東部町内会館		本町22	2-2802
鳥崎生活改善センター		鳥崎町186	2-0992
鷺ノ木生活館		富士見町109	2-0809
蛭谷生活館		蛭谷町158、159	2-3595
本茅部福祉会館		本茅部町92-1	2-0962
下濁川生活改善センター		本茅部町165	7-3249
石倉生活館		石倉町136-5、6	7-3019
石倉西部福祉館		石倉町268-17、18	7-3248
濁川生活改善センター		濁川231	7-3070
濁川地区会館		濁川182-3	7-3230
勤労者の家		上台町326	2-3952
みどりヶ丘会館		上台町330	2-6038
掛澗生活館		砂原西1丁目225-1	8-2378
砂原婦人会館		砂原西3丁目47-33	8-2944
さわやかセンター・砂原		砂原西4丁目234-4	8-2380
砂原特別母と子の家		砂原3丁目35	8-2264
彦澗集落センター		砂原5丁目140	8-2780
沼尻コミュニティセンター		砂原東3丁目45-28	8-4009
開拓会館		砂原東4丁目1-106	8-3492
尾白内保育所		尾白内町539	2-2969
新川保育所		常盤町12-1	2-2543
森保育所		清澄町12	2-2579
森幼稚園		上台町148-3	2-1717
さわら幼稚園		砂原1丁目27-2	8-2462
駒ヶ岳小学校		駒ヶ岳453	5-2243
尾白内小学校		尾白内町948	2-2389
森小学校		清澄町27-1	2-2113
鷺ノ木小学校		鳥崎町195	2-2069
石谷小学校（休校中）		蛭谷町153	—
石倉小学校（休校中）		石倉町283	—
濁川小学校（休校中）		濁川201	—
さわら小学校		砂原1丁目41-1	8-4123
森中学校		上台町326-1	2-2406

名 称	住 所	電 話
砂 原 中 学 校	砂原2丁目188-14	8-2012
森町発達支援事業センター	姫川48	2-2297
展望物産館プラザ（道の駅）	上台町326-18	2-4886
つど〜る・プラザ・さわら（道の駅）	砂原2丁目358-1	8-2828
やすらぎ公園	砂原2丁目165-1	8-2949
森町鷲ノ木史跡公園会館	鷲ノ木町168-1	2-0969
森 町 郷 土 館	砂原4丁目147	8-2967
駒ヶ峯温泉ちゃっぷ林館	駒ヶ岳657-16	5-2880
駅前ふれあいセンター	本町6-22	2-5615
ま ち の 駅	本町6-22	3-2788
森町遺跡発掘調査事務所	森川町292-24	3-2240
森 町 民 体 育 館	清澄町24-2	2-1234
森 町 青 少 年 会 館	清澄町23-2	2-3596
森町民体育館サン・ビレッジ森	清澄町25-6	2-3249
ペタンク場兼ゲートボール場	清澄町25-6地内	—
森 町 民 野 球 場	上台町326-1	—
森町パークゴルフ場兼森町民スキー場	上台町326-1	2-1290
森町ファミリーヘルスプラザ（町民プール）	砂原西4丁目267-1	8-3823
森 町 ふ る さ と 交 流 館	砂原1丁目60-1	8-4255
森町ふれあいの森（パークゴルフ場）	砂原3丁目242	8-5562
総 合 運 動 公 園	砂原1丁目22-10	—
森 町 沼 尻 い こ い の 広 場	砂原東3丁目46-1	—
森 町 交 流 支 援 セ ン タ ー	御幸町3-2	2-7666

103. 森町略年表

西 暦	年 号	事 項
2005	平成17年	森町・砂原町合併する(4月)。森町開町式(7月)。町民憲章、町章、町花(さくら)、町木(茅部ぐり)、町鳥(カモメ)制定する(9月)。非核平和の町宣言、交通安全の町宣言、暴力追放・防犯の町宣言、無火災の町宣言(9月)。町旗を制定する。(11月)。鷲ノ木小学校開校50周年(11月)。ちゃっぷ林館入館者200万人達成(11月)。
2006	平成18年	役場増築庁舎完成(1月)。鷲ノ木5遺跡環状列石が国指定の史跡となる(1月)。森町リサイクルプラザ完成(3月)。森町地域包括支援センター事業開始(4月)。森町行政改革推進委員会答申(4月)。高橋知事来町、ニチロ工場視察後ネイパル森で「まちかど対話」(4月)。森町消防防災センター完成(10月)。さわら小学校開校10周年(9月)。
2007	平成19年	森町地球温暖化対策実行計画策定(3月)。森町消防団と森町砂原消防団が統合、森町消防団発足(4月)。森町学校給食センター移転改築(4月)。旧姫川小学校に森町地域活動支援センター開設(4月)。森町障がい者基本計画・障がい福祉計画策定(5月)。森町国民保護計画策定(4月)。高橋知事来町、国指定史跡鷲ノ木遺跡視察(7月)。交通安全指導車寄贈される(砂原ライオンズクラブ創立20周年)(8月)。森町交流支援センター完成(9月)。第1次森町総合開発振興計画策定(12月)。森町沼尻いこいの広場完成(12月)。
2008	平成20年	公共施設へAED(自動対外式除細動器)寄贈される(森ライオンズ認証45周年)(5月)。静岡県森町からまつり屋台「豊合社」が寄贈される。(友好町40周年記念)(11月)。
2009	平成21年	公共施設へAED(自動対外式除細動器)・車椅子が寄贈される(森町物産センター創立20周年)(6月)。鷲ノ木遺跡・鷲ノ木4遺跡から出土した縄文時代「イカ形土製品」「鐸形土製品」6点が町指定文化財となる(7月)。
2010	平成22年	小冊子「森町の桜～樹齢百年桜への途～」・「自然ガイドブック～森町の花と野鳥～」が刊行される(3月)。第1回楽市楽座もりまち食KING市が開催される(5月)。駒ヶ岳の入山規制が一部緩和される(6月)。森青年会議所創立45周年記念事業大花火大会が開催、森稻荷神社御鎮座300年前夜祭神輿渡御(8月)。
2011	平成23年	東日本大震災被災地へ森町救援隊が救援物資を届ける(4月)。高橋知事来町、食KING市を視察(7月)。札幌交響楽団森町演奏会(創立50周年記念)(9月)。道央自動車道森インターチェンジ開通(11月)
2012	平成24年	静岡県森町との災害時における相互応援に関する協定書締結式が行われる(5月)。森町稻荷神社鎮座300年記念として、榎本武揚のひ孫にあたる榎本隆充氏を招き「子孫の語る榎本武揚～鷲ノ木上陸話～」講演会開催(9月)。道央自動車道大沼公園インターチェンジが赤井川地区に開通(11月)。

西 曆	年 号	事 項
2013	平成25年	濁川活性化センター落成式(1月)。砂原漁協製氷貯氷施設完成(3月)。2013プロ野球ドラフト会議で、吉田雄人氏(森中→北照高)がオリックス・バファローズから5巡目で指名される(10月)。
2014	平成26年	陸上自衛隊第11旅団第28普通科連隊と大規模災害時における連携に関する協定書調印式(11月)。地域活性化広場完成(11月)。
2015	平成27年	森水産加工業協同組合の地域水産物普及拠点施設落成式(11月)。外ヶ浜町合併十周年式典で青森県外ヶ浜町・北海道森町友好町協定書締結式を行う(6月)。森町合併10周年記念式典(7月)。
2016	平成28年	グリーンピア大沼施設の売却(12月)。
2017	平成29年	北海道日本ハムファイターズ「北海道179市町村応援大使」2017に森町が当選し、飯山裕志選手、谷本圭介選手、村田透選手が森町応援大使に決定(1月)。JR桂川駅・姫川駅・東山駅が廃止(3月)。赤井川小学校廃校(3月)。港町保育所・鷲ノ木保育所閉所(3月)。石倉小学校休校(4月)。森漁業協同組合事務所・荷捌施設・天蓋施設落成式(12月)。
2018	平成30年	静岡県森町との友好町締結50周年を記念し、町固有種のサクラ「森小町」を記念植樹(5月)。
2019	平成31年	森川児童館閉館(3月)。
2020	令和2年	森町立さわら幼稚園・さわら学童保育施設完成(3月)。濁川保育所閉所(3月)。旧砂原町町政30周年記念事業として埋設したタイムカプセルを開封(10月)。
2021	令和3年	日本冷凍食品事業発祥100周年記念碑を建立(10月)。
2022	令和4年	濁川小学校休校(4月)。JR石谷駅、本石倉駅廃止(3月)。

104. 旧森町略年表

西 暦	年 号	事 項
1597	慶長2年	箱館・上磯付近より鷺ノ木にニシン漁の出稼ぎ者来る。
1601	慶長6年	千歳末吉が鷺ノ木に移住（町内移住のはじまり）。
1615	元和元年	吉田作兵衛・子之助が尾白内へ永住する。
1640	寛永17年	駒ヶ岳大噴火(6月)。
1669	寛文9年	文献にはじめて「もり・とち崎・かやべ」の地名が載る。
1695	元禄8年	茅部場所と野田追場所で境界論争が起きる。
1738	元文3年	石倉・本茅部・蛭谷古丹・棒美・森が鷺ノ木の支村となる。
1757	宝暦7年	茅部にニシン供養塔が建立(5月)。
1791	寛政3年	紀行家、菅江真澄が尾白内に一泊。
1796	寛政8年	イギリスのブロートンが内浦湾を「噴火湾」と命名する。
1800	寛政12年	尾白内・宿野辺が鷺ノ木の支村となる(5月)。
1801	享和元年	幕府六ヶ場所の村落を「村並」とする。
1807	文化4年	石倉の加賀屋半左衛門が濁川に湯治場を開く。
1831	天保2年	鷺ノ木に霊鷺庵（現霊鷺院）が建立(8月)。
1845	弘化2年	松浦武四郎がエゾ地調査の途中、鷺ノ木に泊まる。
1856	安政3年	駒ヶ岳大噴火(8月)。
1858	安政5年	箱館六ヶ場所の村並が「村」となる。鷺ノ木村が成立。 森・尾白内が鷺ノ木村より独立して森村・尾白内村となる(12月)。
1860	万延元年	宿野辺が鷺ノ木村より独立して宿野辺村となる(2月)。
1863	文久3年	宿野辺村に三界万霊塔が建立される(5月)。
1865	慶応元年	森村でアイヌ墳墓盗掘事件が起きる(9月)。
1867	慶応3年	森村と尾白内村に境界論争が起きる(9月)。
1868	明治元年	徳川幕臣榎本武揚等、開陽などの艦船で鷺ノ木に上陸(10月)。
1872	明治5年	開拓使森出張所が設立される(7月)。函館・森間の道路が完成(7月)。 森郵便取扱所（現森郵便局）が開設(10月)。森・室蘭間に定期航路が開く(10月)。
1873	明治6年	函館・森間に客馬車が通る（10月）。森村波止場（森栈橋）255mが完成する(11月)。
1875	明治8年	森電信局が開局する(3月)。アメリカ人技師ライマンが鷺ノ木村の石油を調査する。
1878	明治11年	森学校（現森小学校）が開校する(3月)。
1879	明治12年	函館警察署森分署（現森警察署）が設置される(3月)。
1880	明治13年	茅部山越郡役所・鷺ノ木2ヶ村戸長役場が開庁する(1月)。白澗学校（現尾白内小学校）が開校する(1月)。石谷学校（現石谷小学校）が開校する(9月)。森村に第九公立病院が開院する(9月)。鷺ノ木学校（現鷺ノ木小学校）が開校する(11月)。
1881	明治14年	森外2ヶ村戸長役場が開庁する(4月)。森村に消防組ができる(5月)。 明治天皇、北海道巡幸で森村に宿泊される(9月)。

西 曆	年 号	事 項
1883	明治16年	宿野辺小学校（現駒ヶ岳小学校）が開校する（8月）。
1889	明治22年	森外5ヵ村戸長役場が開庁する（5月）。
1890	明治23年	森・長万部間道路完成する（12月）。
1897	明治30年	濁川の開拓が開始される。
1899	明治32年	函館区裁判所森出張所（森登記所）が開庁する（4月）。
1900	明治33年	森村農会が設立する（7月）。石倉尋常小学校（現石倉小学校）が独立・開校する（12月）。
1901	明治34年	上濁川簡易教育所（現濁川小学校）が開校する（9月）。
1902	明治35年	6ヵ村が合併して「森村」となり、二級町村制を施行する（4月）。第1回森村会議員選挙が行われる（6月）。
1903	明治36年	函館・森間に鉄道が開通する（6月）。
1907	明治40年	森村に一級町村制が施行される（4月）。
1908	明治41年	森・室蘭間に定期航路が再開される（6月）。
1911	明治44年	森村教育会が設立する（1月）。有限責任森村信用組合（現渡島信用金庫）が設立する（5月）。
1914	大正3年	青葉ヶ丘グラウンドができる（6月）。青葉ヶ丘に吉野桜千本を植樹する（12月）。
1915	大正4年	森郵便局、電話交換業務を開始する（加入者17）（11月）。
1916	大正5年	森市街地に電灯がつく（453戸）（5月）。
1918	大正7年	森村教育会で「森村郷土誌」をつくる（1月）。
1919	大正8年	森村漁業組合が設立する（8月）。
1920	大正9年	森冷凍工場（現㈱ニチレイフーズ森工場）で本格的に冷凍事業を開始する（8月）。
1921	大正10年	森村が町制を施行し、「森町」となる（1月）。
1925	大正14年	森町役場庁舎が新築落成する（現位置）（11月）。
1927	昭和2年	渡島海岸鉄道（東森・砂原間）が開通する（12月）。
1929	昭和4年	駒ヶ岳大噴火（6月）。
1934	昭和9年	森町立職業紹介所が開設する（4月）。
1935	昭和10年	霞台に日本鉱業㈱が大盛鉱山を開鉱する（金・銀鉱）。
1937	昭和12年	北海道拓殖銀行森支店が開店する（9月）。
1938	昭和13年	森町観測所（現森測候所）が正規気象観測を開始する（1月）。森町漁港（船入瀬）の起工式を行う（7月）。
1939	昭和14年	字名地番を改正し、現在の27字名となる（5月）。
1941	昭和16年	町立森実科高等女学校が開校する（4月）。
1944	昭和19年	森電話中継所が開設する（1月）。北洋無尽森出張所が開業する（3月）。
1945	昭和20年	国鉄森・砂原間が開通する（1月）。
1947	昭和22年	公選森町長選挙が行われる（4月）。森簡易裁判所・森区検察庁が開庁する（5月）。森中学校が開校する（5月）。北海道森保健所が開設する（12月）。
1948	昭和23年	北海道立森高等学校が開校する（4月）。森町農業協同組合が設立する。

西 曆	年 号	事 項
		(4月)。森町開拓農業協同組合が設立する(6月)。
1949	昭和24年	森町消防本部を設立する(1月)。森電報電話局が開局する(6月)。 森漁業協同組合が設立する(8月)。
1950	昭和25年	第1回森町さくらまつりが開催される(5月)。森商工会議所が設立する(10月)。
1951	昭和26年	函館開発建設部森出張所が開設する(7月)。
1952	昭和27年	赤井川小学校が独立開校する(4月)。森町全域に山火発生(焼失面積3,880ha・29棟焼失)(5月)。森町教育委員会発足する(11月)。
1953	昭和28年	森町立診療所が開設する(6月)。
1954	昭和29年	森町広報(現広報もり)が創刊される(5月)。森営林署が開庁する(7月)。
1955	昭和30年	鷲ノ木小学校・姫川小学校が独立開校する(4月)。
1956	昭和31年	自治省(現総務省)より財政再建整備町村の指定をうける(3月)。
1957	昭和32年	森駅前広場拡張工事が完成する(3月)。森町公民館が完成する(4月)。
1958	昭和33年	三岱小学校が独立開校する(4月)。
1959	昭和34年	森町立養鱒場を開設する(5月)。アスパラの栽培始まる(5月)。 森町消防署を設置する(10月)。
1960	昭和35年	森町国民健康保険事業を開始する(4月)。
1961	昭和36年	森観光協会が発足する(4月)。森町大火(焼失戸数633戸、損害総額22億2千万円)(10月)。
1962	昭和37年	蛸谷漁港の起工式(2月)。森町消防本部庁舎が完成する(5月)。 森青年会議所が設立する(10月)。
1963	昭和38年	森産業会館が竣工する(11月)。
1964	昭和39年	森町初の「現勢」(昭和39年版)を発行する(2月)。森川児童館が開館する(5月)。森町大火復興祭・火災復興土地区画整理事業完工式を行う(11月)。
1965	昭和40年	国営駒ヶ岳山麓総合土地改良事業調査が始まる。ほたて貝養殖事業が始まる(5月)。
1966	昭和41年	森・森町漁業協同組合が合併する(4月)。鳥崎溪谷八景が決まる(10月)。 森町の町章が決まる(12月)。
1967	昭和42年	森町文化協会が設立する(7月)。森町役場庁舎が完成する(10月)。
1968	昭和43年	森町の町旗を制定する(9月)。森町開基110周年記念式典(9月)。 静岡県森町と友好町協定を結ぶ(10月)。
1969	昭和44年	上台町に展望台が設置される(9月)。森町青少年会館が落成する(11月)。
1970	昭和45年	第1回森町少年愛護会スポーツ大会を開く(8月)。濁川生活改善センターが竣工する(9月)。
1971	昭和46年	町内小中学校で学校給食が始まる(1月)。森町福祉センター・森町公民館が開館する(12月)。
1972	昭和47年	駒ヶ岳が自然休養林に指定される(3月)。国道5号線森川・富士見間

西 曆	年 号	事 項
1973	昭和48年	バイパスが開通する(12月)。 鳥崎生活改善センターが落成する(9月)。上水道建設工事が始まる(10月)。
1974	昭和49年	尾白内生活館が落成する(2月)。駒ヶ岳特別母と子の家が竣工する(4月)。第1回森町産業まつりが開催される(8月)。
1975	昭和50年	上水道の給水が開始する(1月)。赤井川特別母と子の家が竣工する(2月)。蛭谷生活館が落成する(3月)。
1976	昭和51年	石倉西部福祉館が落成する(1月)。森町が大干害となる(8月)。森町漁村センターが落成する(12月)。
1977	昭和52年	鷺ノ木生活館が落成する(1月)。森町民体育館が落成する(5月)。 新川老人いこいの家・石倉生活館が落成する(12月)。
1978	昭和53年	森町民野球場が完成する(9月)。森町会期120周年記念式典を行う(12月)。森町町民憲章を制定する(12月)。駒ヶ岳・赤井川地区簡易水道が完成する(12月)。
1979	昭和54年	常盤福社会館が落成する(1月)。下濁川生活改善センター・姫川福社会館が落成する(12月)。
1980	昭和55年	森町史が刊行される(3月)。北海道森保健所が落成する(3月)。 町立森幼稚園が開園する(4月)。大規模年金保養基地グリーンピア大沼が開設する(7月)。本茅部福社会館が落成する(11月)。森町農業集落センター(白川)が完成する(11月)。
1981	昭和56年	森町墓苑が完成する(3月)。統合森中学校が開校する(4月)。鷺ノ木史跡公園が完成する(10月)。尾白内川サケ・マスふ化場が竣工する(10月)。尾白内南部生活改善センターが落成する(12月)。
1982	昭和57年	身体障害者福社会館「緑の家」が落成する(1月)。統合森中学校校舎落成式(6月)。森地熱発電所が営業運転を開始する(11月)。森高等学校新校舎落成式(12月)。濁川地区会館・東森生活館が完成する(12月)。
1983	昭和58年	鷺ノ木史跡公園資料館(現鷺ノ木公園会館)が完成する(1月)。森町基幹集落センターが完成する(2月)。国道278号線砂原・森バイパスが開通する(4月)。特別養護老人ホーム「さくらの園」が開園する(4月)。オニウシ公園が完成する(11月)。三岱地区会館が完成(12月)。 森川・姫川生活改善センター完成(12月)。地熱利用ハウス栽培温室完成(12月)。
1984	昭和59年	森町ふれあい広場・オニウシ公園完成記念、札幌グリーンコンサート開催(6月)。共進会場完成(10月)。濁川地区「豊かなむらづくり」で農林水産大臣賞に輝く(11月)。姫川小学校新校舎完成、焼酎「オニウシ」誕生・発売(12月)。
1985	昭和60年	渡島支庁管内市町村サミット時、横路知事来町、地熱発電所、野菜栽培ハウスを視察(5月)。挽馬競技場完成(10月)。レクリエーション施設「緑とロックの広場」完成(10月)。
1986	昭和61年	第2回環太平洋BMX選手権大会開催(赤井川大沼カウベルビレッジ)

西 曆	年 号	事 項
		J B A国際BMX コース・駒ヶ岳) (8月)。第1回森町社会福祉大会開催(9月)。オニウシ公園休憩所完成(12月)。
1987	昭和62年	海岸保全施設整備事業完成(3月)。森町が「人権モデル地区」指定(4月)。森小学校新築工事着工(7月)。森蘭航路体験航海(8月)。
1988	昭和63年	町花(そめいよしの)・町木(茅部ぐり)が制定(4月)。第42回全国レクリエーション大会(8月)。合同庁舎落成(ハローワーク・法務局・測候所)(10月)。森小学校校舎棟完成(11月)。展望物産館プラザ工事着工(11月)。森町開基130年記念式典を行う(12月)。
1989	平成元年	展望物産館プラザオープン(4月)。第44回国民体育大会炬火リレー(9月)。森小学校屋内体育館完成(12月)。みどりヶ丘会館完成(12月)。
1990	平成2年	第1回「動く広報」開催(8月)。森町と畜場(食肉センター)が完成(8月)。北海道防災シンポジウム開催(9月)。第1回もりまち健康フェスティバル開催(10月)。道々濁川温泉線の全線整備事業が完工(11月)。
1991	平成3年	森町大通り商店街協同組合設立(7月)。青葉ヶ丘公園グランドナイター設備新設(9月)。森町高齢者事業団発足(10月)。
1992	平成4年	親水ひろば完成(12月)。
1993	平成5年	石倉小学校新校舎完成(1月)。森町国民健康保険病院新築工事着工(5月)。森小学校プール改築(7月)。石谷小学校新校舎完成(11月)。
1994	平成6年	石倉漁港が完成(3月)。森町国民健康保険病院が完成(5月)。みどりヶ丘団地建替工事着工(8月)。大雨による災害(9月)。鳥崎橋架け替え工事完成(12月)。
1995	平成7年	駒ヶ峯温泉ちやつぶ林館完成(6月)。上台地区活性化支援センター完成(12月)。濁川小学校新校舎完成(12月)。
1996	平成8年	駒ヶ岳小噴火(3月)。グリーンピア大沼(ホテル棟・温泉保養所)オープン(4月)。ネイパル森(道立森少年自然の家)オープン(5月)。濁川開拓100年(11月)。
1997	平成9年	鷺ノ木小学校新校舎完成(2月)。下水道事業の幹線工事開始(9月)。第3次森町総合開発振興計画が答申(11月)。サン・ビレッジ森オープン(12月)。町防災行政無線施設工事完成(12月)。
1998	平成10年	道の駅駐車場整備される(3月)。交通安全で自治大臣表彰を受賞する(4月)。NHKのど自慢全国放映される(10月)。ちやつぶ林館に大露天風呂完成する(10月)。駒ヶ岳が小噴火(10月)。もりまち140周年記念式典を行う(12月)。
1999	平成11年	駒ヶ岳火山防災会議がまちづくり大賞(自治大臣賞)を受賞する(1月)。新森墓地「もりまち霊園」の供用を開始する(4月)。
2000	平成12年	駅前ふれあいセンター完成(3月)。介護保険事業はじまる(4月)。ちやつぶ林館入館者100万人達成(7月)。ゴミの分別収集始まる(10月)。高規格救急車を導入する(11月)。
2001	平成13年	森町トマト集出荷選果施設完成(2月)。

西 曆	年 号	事 項
2002	平成14年	森町保健センター完成(3月)。下水道供用開始(3月)。まちの駅完成。(4月)。駒ヶ岳火山噴火防災総合訓練(10月)。駅前広場が完成。(12月)。
2003	平成15年	完全学校週5日制施行(4月)。住民基本台帳ネットワークシステム始まる(8月)。定住対策用地「森町からまつの森」分譲開始(8月)。
2004	平成16年	駒ヶ岳噴火史発行(2月)。姫川小学校閉校(3月)、石谷小学校休校(4月)。 JR森駅開業100周年(6月)。国道5号線道の駅に案内板設置(森ライオンズ認証40周年記念)(6月)。鷲ノ木遺跡の環状列石(ストーンサークル)と竪穴墓域の発見(6月)。定住対策用地「森町からまつの森」第2次分譲開始(7月)。御幸清澄町内会創立40周年(11月)。
2005	平成17年	森町・砂原町合併協議会設立(1月)。町水産系副産物再資源化施設落成(2月)。青葉ヶ丘公園に太陽電池時計が設置される(森ロータリークラブ創立40周年記念)(3月)。森町防火協会創立40周年(5月)。常盤町内会設立30周年(10月)。森町・砂原町合併協定調印式(10月)。 森町女性団体協議会創立55周年(2月)。年金資金運用基金と森町でグリーンピア大沼の売買契約締結調印式を行う(2月)。森町と現地法人「グリーンピア大沼株」で賃貸借契約締結調印式を行う(3月)。森町閉町式(3月)。

105. 旧砂原町略年表

西 曆	年 号	事 項
1532	天文元年	砂原村に津軽の蟹田村から権四郎が初の和人として移住、開村する。
1560	永禄3年	内浦神社が創建。
1571	元亀2年	砂原村和人32戸となり1村を構成。
1640	寛永17年	駒ヶ岳、有史始まって以来の大噴火。内浦湾内外で大被害。
1666	寛文6年	円空上人、内浦神社に仏像1体を奉納。
1741	寛保元年	砂原稻荷神社が創建。
1789	寛政元年	松前藩軍馬を砂原より室蘭の絵鞆に輸送。
1796	寛政8年	英国船プロビデンス号が内浦湾に入る。噴火湾と命名。
1799	寛政11年	東蝦夷地が幕府直轄となり、砂原に分屯陣屋を設置。
1800	寛政12年	測量家の伊能忠敬が駒ヶ岳を中心に測量・製図。
1806	文化5年	幕府の蝦夷地警備において砂原陣屋を強化。
1845	弘化2年	松浦武四郎、蝦夷地探検途上に来村。
1855	安政2年	砂原南部陣屋が築造。箱館港の開港により、砂原の沿岸昆布が品質優良の真昆布として輸出。
1856	安政3年	駒ヶ岳大噴火。特に鹿部村が壊滅的被害を受ける。
1860	万延元年	箱館イギリス領事ホヂソン一行が駒ヶ岳登山。
1868	明治元年	箱館戦争勃発に伴い、榎本軍土方隊が砂原に砲台を築造。
1869	明治2年	箱館戦争終結。開拓使が設置。蝦夷を改め北海道とし、11国86郡になる。砂原は渡島国茅部郡に所属。
1870	明治3年	本願寺道路軍川～砂原間新道開削。
1875	明治8年	砂原郵便局創設。
1879	明治12年	砂原村の松川栄蔵が開拓使表彰を受ける。
1880	明治13年	砂原村戸長役場が設置。砂原学校が開校。
1882	明治15年	開拓使を廃し函館・札幌・根室の3県を設置。
1886	明治19年	3県を廃し北海道庁を設置。
1889	明治22年	森～長万部間の国道貫開通。
1891	明治24年	砂原郵便局が本格的集配局となる。
1893	明治26年	森～室蘭間の定期航路廃止。
1894	明治27年	日清戦争勃発。
1895	明治28年	砂原小学校を2学級編成とする。日清戦争終結。
1896	明治29年	砂原郵便局で電信・為替事務取扱開始。
1897	明治30年	砂原沿岸の景勝美が賛嘆される。
1898	明治31年	噴火湾沿岸で定置漁業が盛んになる。
1902	明治35年	砂原小学校の補習科2年生を併設。砂原墓地新設。
1903	明治36年	函樽鉄道函館～森間開通。森、軍川、駒ヶ岳が開駅。
1904	明治37年	砂原小学校補習科を廃し、修業2年の高等科を設置。日露戦争勃発。
1905	明治38年	日露戦争終結。大沼公園設定。

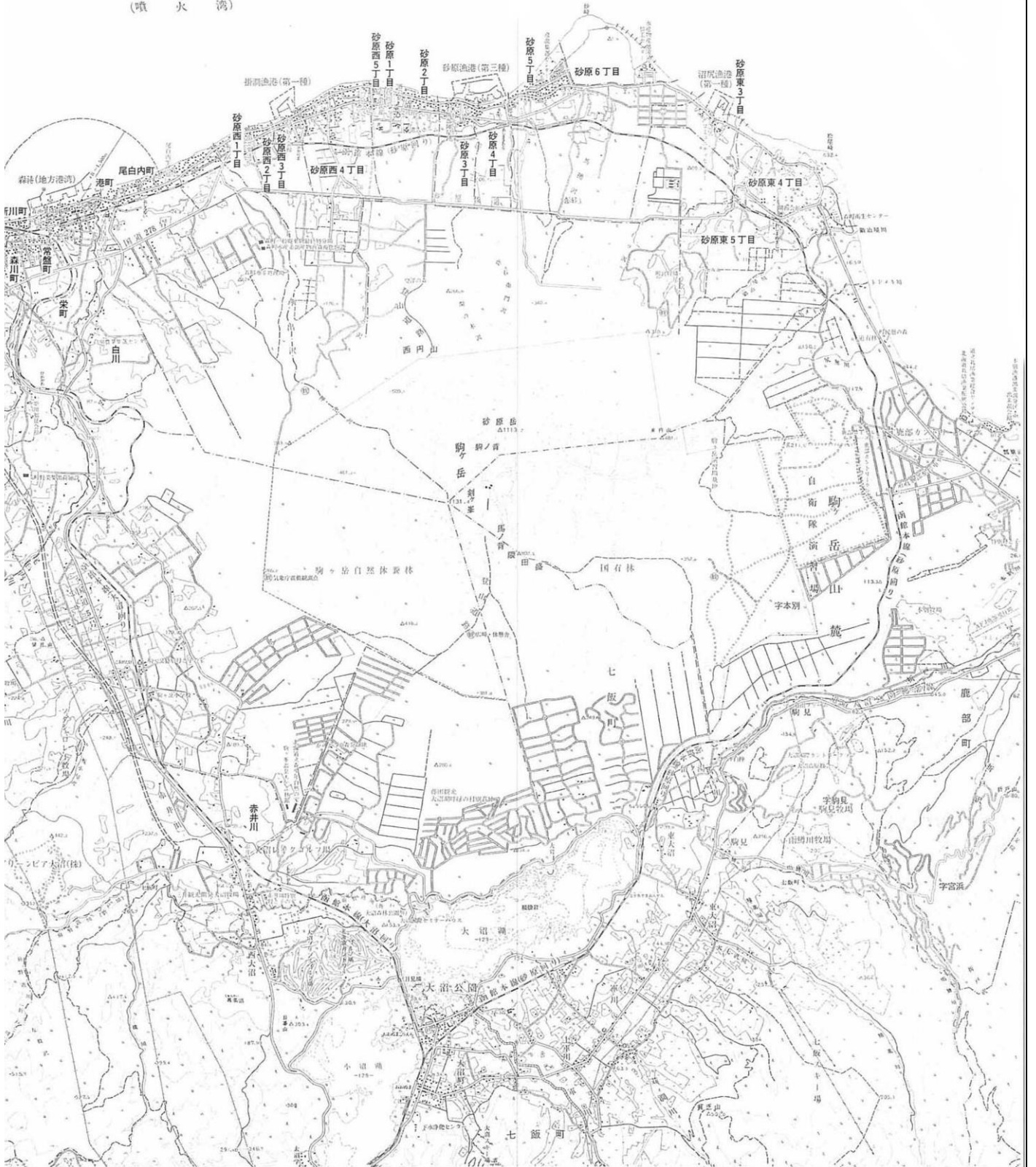
西 曆	年 号	事 項
1906	明治39年	砂原村・掛潤村を合併、砂原村とし2級町村制を施行。噴火湾沿岸でトロール漁法が始まる。
1908	明治41年	砂原小学校高等科を廃し尋常科6年制を実施。
1909	明治42年	砂原消防組創設。駒ヶ岳山麓地帯で木炭製造が盛んになる。
1910	明治43年	砂原小学校実業補修学校を付設。
1912	大正元年	砂原に電灯が点る。
1913	大正2年	全道的な凶作で米価高騰、函館市内電車開通。
1914	大正3年	第1次世界大戦が勃発。砂原小学校の移転改築が竣工。
1916	大正5年	砂原村の阿部勇吉が植林奨励に励む。
1917	大正6年	全道的な暴風雪により連絡船欠航・列車各所で不通。大戦の影響から澱粉・青豌豆が暴騰。馬鈴薯栽培熱が高まる。砂原村徽章が制定。沼尻特別教授場開設。
1918	大正7年	全道で猛吹雪。全道的にスペイン風邪が流行。南部陣屋跡に忠魂碑建立
1919	大正8年	無限責任砂原漁業協同組合設立。
1920	大正9年	室蘭地球岬の灯台点灯・霧信号所吹鳴開始。第1回国勢調査（砂原村2,832人）。
1921	大正10年	森～砂原間に私営乗合馬車（櫓）運行。
1922	大正11年	駒ヶ岳小噴火。函館支庁を渡島支庁と改称。大沼公園が道立公園に指定。沼尻墓地新設。
1923	大正12年	駒ヶ岳小噴火。道庁命令定期船函館～森線新設。馬頭観音碑建立。砂原港が函館～森間の通信省郵船補助航路寄港地となる。森～砂原間の電話工事着工。砂原郵便局通話事務開始。駒ヶ岳「駒の湯温泉」開湯。旭川第7師団が森・砂原に宿泊。関東大震災。
1924	大正13年	駒ヶ岳小噴火。
1925	大正14年	第2回国勢調査（砂原村3,208人）。
1926	大正15年	砂原小学校に砂原青年訓練所付設。森～砂原間に定期バス運行。全道的な大凶作。
1927	昭和2年	渡島海岸鉄道東森～砂原間が開通。
1928	昭和3年	初めて砂原村内でラジオが聴取。鉄道長万部～東室蘭間全通により、森～室蘭間の航路廃止。
1929	昭和4年	大沼～鹿部間開通。駒ヶ岳が大噴火。沿岸で大被害。噴火活動収束後、一丸となって復旧に努める。
1930	昭和5年	噴火湾沿岸の各村で漁業組合大会が開催。発動機漁船が沿岸に就漁。第3回国勢調査（砂原村3,776人）。
1931	昭和6年	満州事変勃発。全道的な冷害により大凶作。砂原村四軒町に火葬場が寄付。
1932	昭和7年	砂原尋常高等小学校・沼尻特別教授場新築落成。全道的多雨低温により凶作。

西 曆	年 号	事 項
1933	昭和 8年	尾白内郵便取扱所開設。砂原地帯で豪雨、甚大な被害に見舞われる。
1934	昭和 9年	函館大火。砂原村役場庁舎新築完成。
1935	昭和10年	砂原郵便局電話交換事務開始。全道的冷害風水害により凶作。第4回国勢調査（砂原村5,455人）。
1936	昭和11年	砂原村立砂原水産青年学校開校。砂原小学校「砂原村郷土読本」を編集。
1938	昭和13年	鹿部村に駒ヶ岳噴火災害復旧工事完成記念碑建立。
1939	昭和14年	砂原消防組が砂原警防団と改組。
1940	昭和15年	砂原商業組合設立。第5回国勢調査（砂原村5,822人）。
1941	昭和16年	鹿部～森間バス運航開始。太平洋戦争に突入。
1942	昭和17年	郷土芸能「沼尻駒踊り保存会」編成。
1945	昭和20年	国鉄砂原線森～軍川間が開通。太平洋戦争終結。全国的な凶作・インフレ・食糧難。
1946	昭和21年	砂原村隔離病舎設置。
1947	昭和22年	砂原中学校校舎新築。
1948	昭和23年	砂原村農業協同組合設立。
1949	昭和24年	砂原・掛澗両漁業協同組合設立。
1950	昭和25年	砂原商業協同組合設立。
1952	昭和27年	砂原村教育委員会が発足。砂原砂崎灯台竣工。
1954	昭和29年	乳牛導入事業始まる。
1955	昭和30年	砂原漁業協同組合ホッキ稚貝放流。
1959	昭和34年	放牧地に肉用牛が本格的導入。
1961	昭和36年	砂原漁港竣工。
1962	昭和37年	駒ヶ岳山麓砂原村松岡山一帯、別荘用分譲地となる。
1963	昭和38年	広報「さわら」発刊。
1965	昭和40年	砂原村観光協会創立。砂原村栽培漁業ホタテ養殖始まる。
1968	昭和43年	砂原村海岸保全区域指定。栽培漁業昆布養殖始まる。
1969	昭和44年	国営駒ヶ岳山麓開発事業促進協議会発足。砂原～室蘭間、トランジター一海底ケーブル線敷設開始。
1970	昭和45年	砂原町制施行、新庁舎落成。
1971	昭和46年	駒ヶ岳が自然休養林に指定。
1972	昭和47年	駒ヶ岳山麓鳥獣保護区域に指定。水産加工団地完成。
1973	昭和48年	砂原町国保病院が完成。
1974	昭和49年	ホタテボイル工場完成。南部藩屯所跡が国指定となる。
1975	昭和50年	さわら郷土館完成。貝類処理場完成。
1976	昭和51年	全国社会体育モデル指定市町村の指定を受ける。
1980	昭和55年	開基100年・町制施行10周年記念式典開催。公民館完成。
1982	昭和57年	稚ガニの中間育成開始。
1986	昭和61年	ハマナスグリーンパーク、ファミリーヘルスプラザ完成。

西 曆	年 号	事 項
1989	平成元年	砂原町火葬場完成。
1990	平成2年	国道278号線、砂原バイパス完成。
1992	平成4年	花いっぱい運動が開始。
1993	平成5年	北海道南西沖地震。砂原中吹奏楽部創設。
1994	平成6年	特別養護老人ホーム「シャリテさわら」がオープン。町民オーケストラ創設。クロソイ中間育成事業が開始。
1996	平成8年	駒ヶ岳が小噴火。砂原町イメージアップ事業開始。
1997	平成9年	3校統合し、さわら小学校開校。
1998	平成10年	「つど〜る・プラザ・さわら」オープン（平成11年道の駅指定）。町国保病院から新都市砂原病院に経営を移管。駒ヶ岳が小噴火。
1999	平成11年	砂原町地域振興券が交付。ホタテ未利用資源リサイクル施設を整備。観光案内板設置。
2000	平成12年	あったかさわらパークゴルフ場オープン。
2001	平成13年	やすらぎ公園オープン。さわやかパーク完成。
2002	平成14年	砂原町水源開発事業調査開始。砂原町体育協会創立40周年記念式典開催。
2003	平成15年	長万部町・八雲町・森町・砂原町の4町による北渡島合併問題検討会設立。北渡島合併問題検討会から北渡島合併任意協議会へ移行。北渡島合併任意協議会離脱。
2004	平成16年	管理型最終処分場・漁業系廃棄物リサイクル施設完成。森町・砂原町の2町により合併法定協議会設立。森町・砂原町の両町の町長により、合併協定書への調印が行われる。
2005	平成17年	砂原中学校開校30周年記念式典開催。砂原町閉町する。

森町管内図

内浦湾
(噴火湾)



森 町 統 計 書

令 和 4 年 版

令和 5 年 3 月 発行

〈 発 行 〉 北 海 道 森 町
〈 編 集 〉 森町企画振興課統計係

〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144番地1

電 話 01374-7-1283

F A X 01374-2-3244
